令和４年度　松田町立松田小学校　学校だより　第14号

酒匂の清流

令和４年12月１日（木）発行　校長　伊田　将美

ペコちゃん公園にて

「校長先生もいっしょにいくの？」
「うん、そうだよ。」
「楽しみだね…。」
そんな会話をしながらのスタートとなりました。２年生の子どもたちは、幼稚園や保育園でもコロナ禍が始まってからは、なかなか遠足のような行事が実施できていなかったようで、久しぶりの楽しみな行事に、はちきれんばかりの笑顔です。期待でいっぱいの子どもたちの顔を見ながら、私も幸せな気分で新松田駅に向かいました。

前号で紹介した１年生も行ったペコちゃん公園へ、公共交通機関を使って出かけます。貸し切りバスでの移動とは異なり、駅等での待機場所の確保やトイレの確認、バスの時刻表や移動経路確認など、様々な配慮を担任がしてくれての実施となりました。

そのような状況の中で、人手を確保するために、民生委員で学校評議員の府川芳子さんに付き添いをお願いしたところ、快く引き受けてくださいました。強力な助っ人を得て、安心感が増しました。

駅での待機、電車の中でのマナー、入れ替えでのトイレ、バスの待ち時間等々、子どもたちもきちんと先生に言われたことを守っています。何といってもペコちゃん公園という希望溢れる目的地に向かっているのですから…。

ペコちゃん公園は、思った通りの素敵な場所でした。

紅葉の始まった木々に囲まれた自然豊かな環境、わくわくするようなたくさんの遊具、どんぐりがたくさん落ちているとっておきの場所…。子どもたちは、決められた活動時間をめいっぱい使って、伸び伸びと活動を楽しんでいました。

私は荷物番とトイレの確認という担当で、子どもたちといっしょに遊ぶことはできませんでしたが、それでも何人かが私のところへ、活動の成果を報告に来てくれました。

どんな遊具があるのか嬉しそうに教えてくれる子、どれだけどんぐりが取れたのか報告する子、頭を削って地面に立つようになったどんぐりを自慢げに見せてくれる子…。それだけでも、いっしょに遊んでいるような気分になりました。

次々と子どもたちが自分の荷物の場所に戻ってきて、ごくごくとおいしそうに水筒の中身を飲んでいきます。そののどの鳴る音が、この日の充実した活動を物語っているようでした。

一日中、子どもたちをあたたかく見守り、やさしく支援してくださった府川さんに感謝です。

「私も子どもたちといっしょに一日過ごして、とても楽しかったです。おかげで子どもたちのことが、よくわかりました。」

ご苦労はかけたと思うのですが、共に楽しんでいただけたようです。その言葉が、この日の遠足を象徴しているようでした。

体験的な学びから…

４年生は、総合的な学習の時間に福祉の学習をしています。この学校便りでも度々紹介していますが、手話体験や車いす体験など、地域の先生をお招きしての学びは、とても意義ある学習の場となっています。

11 月 17 日には、高齢者体験の学習がありました。今回も松田町福祉協議会のみなさんのご指導で、様々な体験をすることができました。視覚や聴覚、運動機能に負荷をかけることで、高齢者のみなさんがどのような生活をしているかを実感することで、「共に生きる」という視点が更に深まったように感じました。

また、28 日には「学校での SDGｓ宣言」の授業が行われました。SDGｓの視点で身近な松田町について自分たちのできることを考え、実際にこれから自分が行動していきたいことを宣言しました。

子どもたちは、身の回りの小さなことでも、とにかく行動を積み重ねていくことが大切であることを理解したようです。

一人ひとりの「SDGs 宣言」は、「松田町 SDGs 推進プラットフォーム」から見ることができますので、時間がある時にご覧ください。

同じ日に、６年生の「第３回松田町クリーンアップ大作戦」も実行されました。以前、学校便りでも紹介した通り、これも正に地域に根差す SDGs の取り組みです。今回は更に活動場所を子どもたちが考え、ゴミがありそうな場所にねらいを絞って実施しました。

地域の美化作業からもどった６年生の持つ袋には、たくさんのゴミが入っていました。それを一生懸命分別しながら、松田町の環境を守りたいという思いを強くしたようです。

正に SDGs な一日となりました。

ＺＩＰの取材

松田町の新校舎が、日本テレビの ZIP の取材を受けました。テレビの取材があることは、子どもたちにも伝えていましたが、水ト麻美アナウンサーが取材に来ることは、サプライズの意味も含めて、秘密事項でありました。

11 月 16 日の昼休み、水トさんが児童昇降口から松田小学校に入りました。吹き抜けの２階には、取材の気配を感じて子どもたちが集まっていましたが、水トさんを確認すると、それはもう、蜂の巣をつついたような大騒ぎとなりました。

集まってくる子どもたちをかき分けながらの取材となりましたが、木のあたたかいぬくもりに包まれながら、松田小学校の良さを紹介することができたのではないかと思います。

多くの子どもたちが集まってきましたが、水トさんは気軽に子どもたちの声かけに答えてくださって、感動のあまり泣き出す子も…。様々な制約がある新校舎建築の３年間ですが、このような貴重な体験ができてよかったな…と子どもたちの表情を見て感じました。

「そうじを一生懸命やっています。」

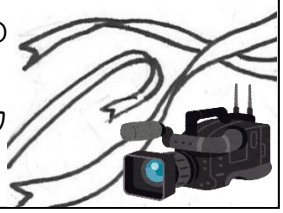
と私が自慢した通り、あれほど興奮して撮影隊の周りに集まっていた子どもたちが、掃除の時間になると潮が引くように自分たちの掃除場所に向かっていきました。

掃除中の校舎を撮影しながら、水トさんはじめ撮影隊のみなさんからは、子どもたちを称賛する言葉を数々といただきました。

私も鼻が高かったです。指導してくれている職員と子どもたちに感謝です。

５時間目になると、教室をオープンスペースにして総合的な学習の活動をしている６年生の教室の取材になりました。左に紹介した「松田町クリーンアップ作戦」の作戦会議です。松田町の環境美化のため SDGｓの取り組みを進める６年生の授業を参観してくださいました。

目標に向かってひとつになり、一生懸命めあてを実現しようとするために活動する松田小学校最上級生の姿を感心しながら参観されていました。グループワークになると、グループ取材もしながらの子どもたちとの交流がありました。



６年生も活動の意欲とパワーをもらったようでした。